

Jin Chen  
Violin  
Doctoral Recital

# 陳 金

## 学位審査演奏会

[共演者]



松本望(piano)



朴賢娥(cello)

2022年11月10日(木)

14:00開場14:30開演

東京音楽大学中目黒・代官山キャンパス

TCMホール 入場無料

## PROGRAM (Ysaÿe × Frank)

E.イザイ 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第1番ト短調 作品27-1

E.Ysaÿe: Solo Violin Sonata No.1 in G minor Op.27-1

E.イザイ ヴァイオリン、チェロと管弦楽のための  
『ポエム・ノクテルヌ』 作品29

E.Ysaÿe: Poème nocturne for Violin, Cello and Orchestra Op.29

C.フランク ヴァイオリン・ソナタイ長調 FWV8

C.Frank: Violin Sonata in A Major FWV8

お問い合わせ先:

東京音楽大学 池袋キャンパス事務室(博士課程担当)

(Tel)03-3982-3138 (Mail)tcmdoc@tokyo-ondai.ac.jp





## 陳金 Jin Chen | ヴァイオリン

1995年中国内モンゴル出身。音楽家である母の指導の下4歳からヴァイオリンを習い始める。11歳で、北京市文化局主催ジュニア音楽コンクール全国大会においてグランプリ受賞。第3回日中国際芸術コンクール最高位。第15回セシリア国際音楽コンクール第2位(1位なし)。第24回“長江杯”国際音楽コンクール第3位。第30回日本クラシック音楽コンクール優秀賞。第22回大阪国際音楽コンクールリサイタルコース部門入選。

中央民族大学音楽部にて姜素民氏に師事。2016年来日、東京音楽大学に入学。東京音楽大学大学院修士課程修了、現在神林財団法人奨学生として、同大学院博士後期課程在籍。これまでに、ヴァイオリンを荒井英治、東彩子、後藤龍伸の各氏に、室内楽を荒井英治、鈴木秀美の各氏に師事。指揮法を野口芳久氏に師事、論文指導を藤田茂氏より受ける。在学中に、東京音楽大学弦楽アンサンブル・エンドレス、創立111周年記念オーケストラ、アルゲリッチ音楽祭2022などに出演。また、竹澤恭子氏の特別レッスンを受講、篠崎史紀氏、Federico Agostini氏、Philippe Honoré氏(英国王立音楽アカデミー)によるマスタークラスを受講。

ソリストとして、大連フィルハーモニー交響楽団と共演(2020)、東京多元交響楽団のニューイヤー・コンサートで(2021)コンサートミストレスを務めるなど、国内外の演奏会に多数出演。2022年より小澤征爾音楽塾に在籍、小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト XVIII、セイジ・オザワ 松本フェスティバルに参加。現在、ソロ、室内楽、オーケストラなど、日本を中心に幅広く演奏活動を行なっている。

## 松本 望 Nozomi Matsumoto | ピアノ

北海道出身。東京藝術大学作曲科卒業、同大学大学院修士課程作曲専攻修了。パリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科首席卒業(審査員満場一致)。

2000年PTNAピアノコンペティションソロG級全国大会銀賞。2003年東京文化会館主催合唱作品作曲コンクール最優秀賞、受賞作品をはじめ自作曲集、編曲集等の出版多数。2007年第4回リヨン国際室内楽コンクール(フランス)第1位及び特別賞(ヴァイオリンとピアノのデュオ)。2008年度文化庁新進芸術家海外留学制度派遣研員。2009年第55回マリア・カナルス国際音楽コンクール(スペイン)・ピアノトリオ部門第1位。

在学中より作曲と演奏の両分野で活動を展開し、作曲では今年、2015年以来7年ぶりにNHK全国学校(合唱)音楽コンクール課題曲の作曲者となり注目を集める。演奏ではアンサンブルを中心に活動、国内外のアーティストと共演を重ねるほか、CDレコーディングに多数参加。アンサンブルピアノのための入門書『合唱エクササイズ・ピアニスト編(カワイ出版)』を2017年よりシリーズで刊行中。

現在、国立音楽大学、洗足学園音楽大学、各非常勤講師。東京藝術大学弦楽科伴奏助手。



## 朴賢娥 Hyunah Park | チェロ

韓国出身。桐朋学園オーケストラ・アカデミー、および修士課程を修了。ウィーン国立音楽大学演奏者課程修了。東京音楽大学博士後期課程を準特別奨学生として博士号習得および優秀賞受賞。サントリー・ホール室内楽アカデミー第1期を修了。ソリストとしてベルリン交響楽団、ローマ・シンフォニー・オーケストラなどと共演、特にロンドンにてオーケストラオブセント・ポールとのハイドンチェロ協奏曲第1番の演奏で(指揮:Ben Palmer)イギリスハイドン協会から好評を博す。広く知られていないA.ドヴォルザークの『チェロ協奏曲イ長調B.10』をメキシコと日本にて初演、さらにタイ、シンガポールにて室内楽コンサートやマスタークラスも行った。これまでにチェロをD.Feygin、S.Kropfitsch、O. Müller、堤剛、岩崎洗、銅銀久弥の各氏に、室内楽をA.Kouyoumdjian、J.Meissl、M.Fernandes、T.Leopold、P.Matzka、P.Schuhmayer、藤原浜雄、若林顕、上田晴子、カルテット・エクセルシオに師事。

現在、東京音楽大学付属高校オーケストラ・室内楽非常勤講師、東京音楽大学指揮科特別アドヴァイザーを務めながら2020年より宮崎国際音楽祭に出演するなど、オーケストラ・室内楽奏者やソリストとして日本を中心に幅広く活躍している。2022-23はザルツブルクのモーツァルテウム(Wiener Saal)にてのリサイタルなどが予定されている。